

Outlook のカスタマイズ Cisco E メール セキュリティ レポートおよび暗号化プラグイン ボタン

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[レポート作成](#)

[Encryption](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

概要

この資料に Outlook の Cisco E メール セキュリティ レポートおよび暗号化プラグイン ボタンをカスタマイズする方法を記述されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- [Cisco E メール セキュリティ プラグイン](#)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Windows 10 64、Outlook 2016 64 Cisco Email Encryption 1.2.1

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

Cisco E メール セキュリティ プラグインをインストールするとき Outlook インターフェイスの Cisco メール報告および暗号化 セクションに現われる Customize ボタンにほしいです。

- Windows のファイルを編集する権限がなければなりませんさもなければ、Outlook は新しい設定を読みません。
- Outlook はインストールしました。Outlook およびプラグインは互換性マトリックスで一致する必要があります。 [Cisco Email Encryption 互換性マトリックス](#)
- インストールされる [Cisco E メール セキュリティ プラグイン](#)。
- 会社のための CRES アカウントを持つことはおよび管理者権限を持っていることは必要 BCE コンフィギュレーション ファイルを CRES ポータル <https://res.cisco.com/admin/> からダウンロードするためにです

注: CRES 管理者 アカウントを持たない場合 Ciscoサポートに連絡して下さい。

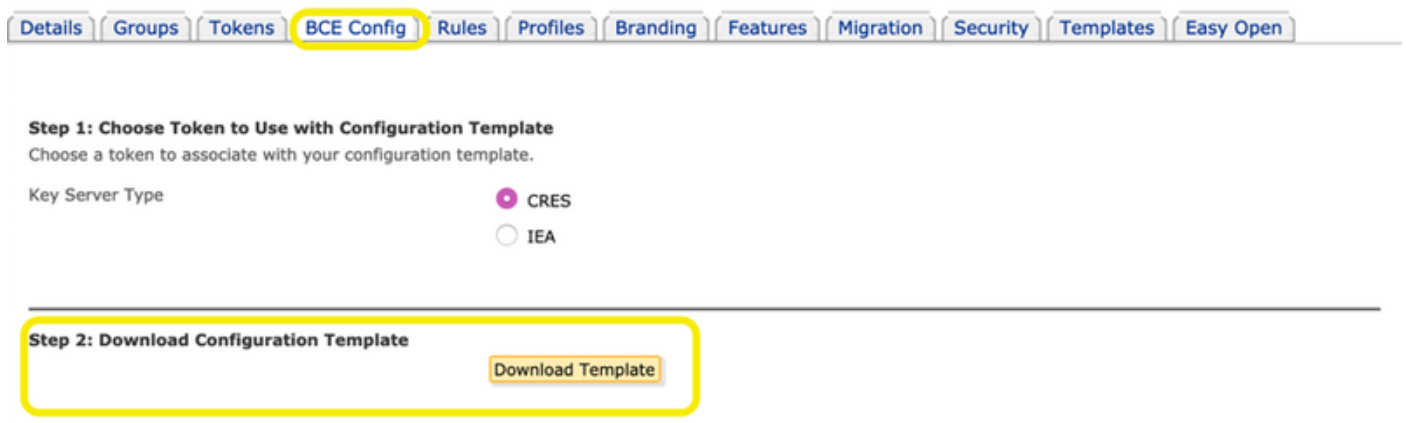
設定

レポート作成

ステップ 1. Microsoft Outlook はインストールされ、閉じられます。

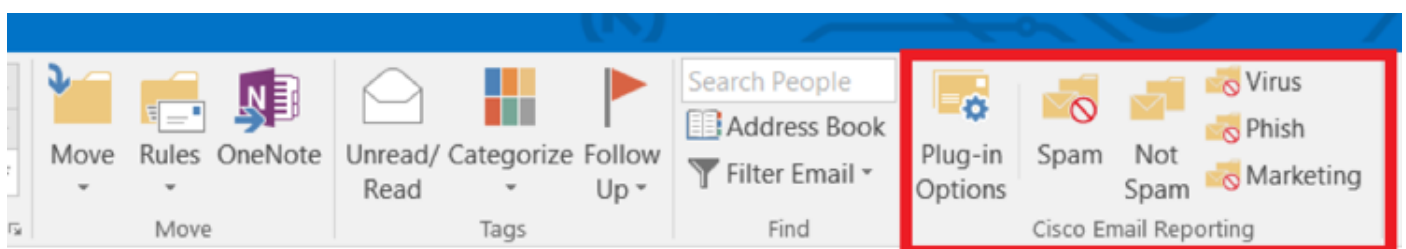
ステップ 2. PC に Cisco E メール セキュリティ プラグインを手動でインストールして下さい。

ステップ 3. CRES ポータルへのナビゲート (イメージに示すように <https://res.cisco.com/admin/>) およびダウンロード BCE config ファイル。

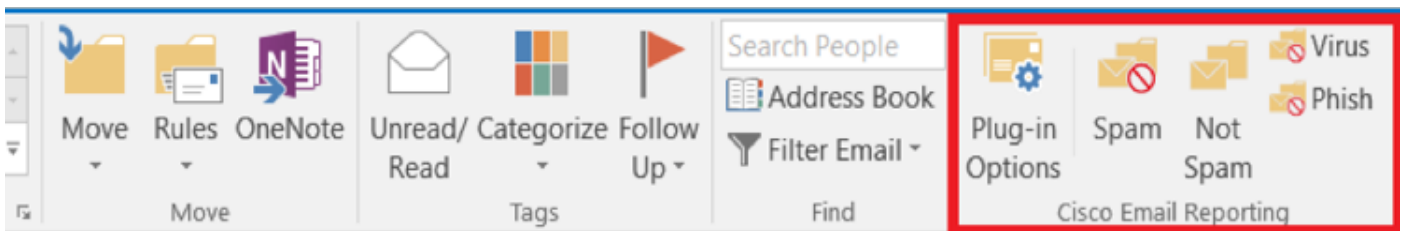


ステップ 4. BCE.xml ファイルの修正はビジネス上の必要によって決まります。

次に、例を示します。マーケティング ボタンを取除くために、reportType name= "マーケティング" セクションにナビゲートし、イメージに示すようにこのセクションを、削除する必要があります。



```
</reportType>
<reportType name="phish">
  <!-- Only one email address is allowed for each report type -->
  <address>outlook_phish@access.ironport.com</address>
  <copyAddressInPlainFormat></copyAddressInPlainFormat>
  <headerValue>phish</headerValue>
  <showInJunkFolder>true</showInJunkFolder>
  <largeRibbonButton>false</largeRibbonButton>
</reportType>
<reportType name="marketing">
  <!-- Only one email address is allowed for each report type -->
  <address>outlook_mktg@access.ironport.com</address>
  <copyAddressInPlainFormat></copyAddressInPlainFormat>
  <headerValue>marketing</headerValue>
  <showInJunkFolder>true</showInJunkFolder>
  <largeRibbonButton>false</largeRibbonButton>
</reportType>
</reportTypes>
</reportingComponent>
```



ステップ 5. BCE.xml ファイルへの変更を完了し、それを保存して下さい。

ステップ 6 CRES 管理者ポータル、ファイルをそのままアップロードする BCE Config タブへのナビゲート。

ステップ 7.イメージに示すように、『Upload』 をクリックし、署名して下さい。

Step 1: Choose Token to Use with Configuration Template

Choose a token to associate with your configuration template.

Key Server Type

CRES

IEA

Step 2: Download Configuration Template

Download Template

Step 3: Edit Configuration Template

The template contains comments describing the configurable items to be edited.

Step 4: Upload and Sign Configuration

Upload the template so that it can be digitally signed for client verification.

Upload Plug-in Configuration*

Examinar...

Ningún archivo seleccionado.

Upload and Sign

ステップ 8.新しい署名されたファイルによって生成される呼出された **BCE_Config_signed.xml** を C:\ProgramData\Cisco\Cisco E メール暗号化プラグイン\コモンにコピーし、イメージで示されている **config_1.xml**as として名前を変更して下さい。

Name	Date modified	Type	Size
Localization	20/11/2018 02:30 ...	File folder	
postx_config	20/11/2018 02:31 ...	File folder	
PostXMessage	20/11/2018 02:30 ...	File folder	
CommonComponentsConfig	20/11/2018 02:34 ...	XML File	4 KB
config_1	16/10/2018 01:48 ...	XML File	22 KB

ステップ 9. CommonComponentsConfigurationtag の下で **CommonComponentsConfig.xml** として名付けられるファイルを開き、イメージに示すようにこれらのストリングを、入力して下さい。

<accountFileNames>

<accountFileName filePath="config_1.xml" emailAddressAndKeyServer=" *」 />

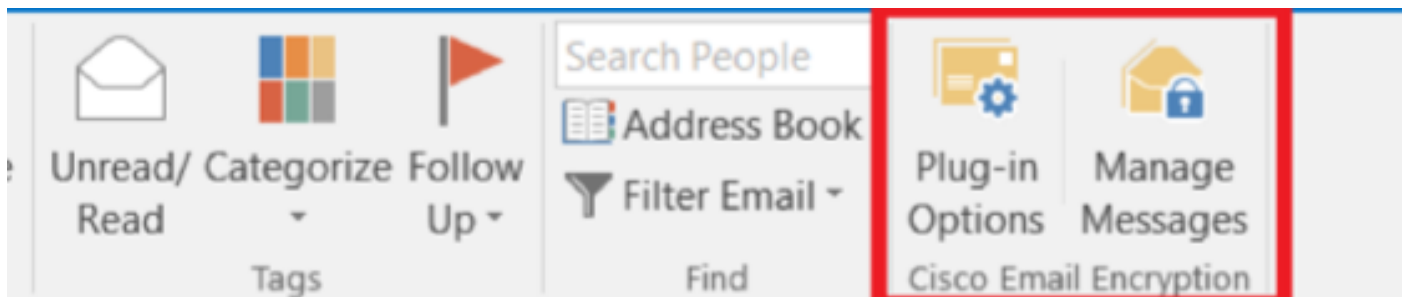
</accountFileNames>

```
C:\ProgramData\Cisco\Cisco Email Encryption Plug-In\Common\CommonComponentsConfig.xml - Notepad++
File Edit Search View Encoding Language Settings Tools Macro Run Plugins Window ?
esascriptps1 CommonComponentsConfig.xml
1 <?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
2 <CommonComponentsConfiguration xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">
3   <accountFileNames>
4     <accountFileName filePath="config_1.xml" emailAddressAndKeyServer="**"/>
5   </accountFileNames>
6   <lockUIOptions>false</lockUIOptions>
7   <IsPluginEnabled>true</IsPluginEnabled>
8   <emailBodyTemplates>
9     <template>
```

ステップ 10. Microsoft Outlook を開き、カスタマイゼーションが望まれるように設定 されることを確認して下さい。

暗号化

差込式ソフトウェアは 2 つの More ボタンが含まれているイメージに示すように Cisco Email Encryption と呼ばれる別のセクションを追加します:



本当から偽に config_1 として名付けられるファイルの値を変更するこのラインでとき Messages ボタンを無効に されます管理して下さい:

```
<showManageMessageButton>false</showManageMessageButton>
```

差込式 Options ボタンはこのラインで本当から偽に config_1 として名付けられるファイルの値を変更するとき無効に なります:

```
<showPluginOptions>false</showPluginOptions>
```

イメージに示すように Call Home ポップアップ ウィンドウ外観:



Send anonymous usage data to Cisco to help us improve the Cisco Email Encryption Plug-in?

[Read more](#)

Send anonymous usage data to Cisco

You may also change this setting through the Plug-in options.

Continue

この設定はこの行で本当から偽に config_1 として名付けられるファイルの値を変更するとき無効になります:

<callHome>

<callHomeAdminEnabled>>false</callHomeAdminEnabled>

</callHome>

注: callHome ポップアップ ウィンドウのための行は config_1 ファイルにこれが上記の行を追加し、不一致を避けるために偽に値を変更する必要がある事実である場合現われることができません。

修正した後この3つの最後のオプションは変更をきちんと保存するためにステップに 5-10 従うようにします。

確認

実行し、適切なプロセスを確認します Outlook クライアントの結果を確認して下さい。開いた Outlook 新しい変更をロードするためにクライアントを作るために閉じ。

関連情報

- [ソフトウェア IronPort E メール セキュリティ アプライアンス プラグイン- 1.2.1.118](#)
- [Cisco Email Encryption プラグイン 1.2 管理者ガイド](#)
- [Cisco Email Encryption 互換性 マトリックス](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)